

富士見台だより 2019年 4月~12月

【教育：保育目標】豊かな心で、よくあそぶ子
 体験を通して優しさ・思いやりが育ち、自分で考えながら遊びを進める
 【重点目標】 夢中になって遊ぶ
 キーワード：やってみる・きづく・いっしょに・もういっかい！

春~夏

園名通り富士山が見える園庭。子ども達は様々な事にチャレンジしながら元気に駆けまわります。四季折々の花々や、畑の野菜の生長を楽しみつつ、園周辺の広場や公園にもお散歩にも出かけます。また、交通ルールを学びながら、元気よく歩く距離も伸ばして行きました。シャボン玉・泡遊び・泥んこ・プール、夏祭り・・・。夏ならではの遊びを、ひとりで、また友だちや保育者と一緒に楽しめます。いろいろ工夫したり、試したりしながら、自分で考えて準備し、次の遊びへと進めていきました。お化け屋敷、お店屋さんごっこも楽しんだよ！



年長さんが作ってくれたお化け屋敷。今度は僕たちがおばけになって…バア~！



おばけ~！



タコはTだよ



マンモスの骨だー！

火つくかな？



秋~冬

4歳児：人気のTT兄弟の、「Tって何？」という疑問から、Tの意味を学び、園内や近所のスーパーへ出かけてT探し。買い物の経験を発表会の劇ごっこにしました。

5歳児：防災の日の不便さから、原始時代に興味を持ち、調べ始めて運動会にも原始人が登場。三保ヘマンモスの骨を見に行き、登呂公園で火のおこし方を知り、原始人ブームから学んだものを劇遊びにして発表しました。

遊びを通して、自分で考え自分で決められる子に！
 子どもの育つ力（自分で自分を育てようとする力）を大切にしています。